

スタイル アサヒ

October

2016

第85号

10月号

特集

歩く十楽しみ

◆ につぼん匠紀行 愛媛県

世界に誇るシルクの産地 西予市

◆ ごはんで元気!旬の食材をおいしくヘルシーに!

紅サケ・ホウレンソウ・里芋

◆ 美人スイッチエクササイズ

足腰を鍛え、冷えを防ぐ簡単スクワット



世界に誇るシルクの産地
愛媛県西予市

出来上がった美しい糸に
いつも見とれてしまいます



野村シルクの出来上がり。「白い椿」を思わせる輝きから「伊予生糸カメリア」のブランドで出荷され世界に広く知られている



生繭は煮沸して軟化させ、糸を繰り出す。使用する機械は生糸にかかる張力が低い昔ながらの「多糸繰糸機」



入荷した繭は傷物を取り除き、5〜6度で冷蔵貯蔵する。これは「生繭」といわれ、熱風乾燥より白く光沢のある生糸になる

愛媛県西予市、野村町。ここで
最高級の「伊予生糸」が生まれる

野村町で養蚕が始まったのは明治時代。四国山脈から流れる河川周辺の肥沃な土地は桑園に適し、良質の繭が生産されました。その繭を、四国山系の水を用いて繰糸するため、伊予生糸はかさ高でふんわりとした風合いになります。織物にすると柔らかさと暖かさが生まれ、着物では着崩れしにくく、帯なら締めまり具合が良いと高い評価を得ています。その高い品質や地域性が認められ、今年、農林水産大臣の登録する日本地理的表示保護制度に10番目に認定されました。

伊予生糸は別名「野村シルク」と呼ばれ、英国女王のドレス用生糸や伊勢神宮の式年遷宮で御料糸に採用されています。「野村シルクの品質の秘密はその製造法と機械です。繭を保存する際、普通は熱風乾燥しますが、ここでは生糸の状態を冷蔵貯蔵した繭を張力を抑えつつ低速で巻き取っていくため、他にはない風合いと美しい光沢が生まれます」。繰糸工の井関奈央さんは、そう話しながらも器用に繭を扱い、細い糸を一本ずつ丁寧に繰り出していきます。

「時代と共に養蚕農家が減り、生産量は激減しました。けれど、この土地でしか生み出せない美しい伝統は絶やしたくない」。町も新たな養蚕農家の育成に力を入れています。



繰糸工の井関奈央さん。野村シルクの魅力をもっと知りたいと6年前にこの世界へ

明治時代へ、4億年前へと タイムトリップ体験できる西予市

野村シルクの製糸場がある「西予市野村シルク博物館」は、世界に誇る伊予生糸の製造工程が見学できる施設。同時に、シルクの歴史資料や昔ながらの貴重な道具を展示する、見ごたえあるミュージアムです。

博物館から車で約30分、西予市の中心にあるJR卯之町駅^{うのまち}周辺は、江戸中期から昭和初期の建物が残るエリアです。宇和島藩の在郷町として栄えていた情緒ある通りには、白壁や格子窓の商家が並び、現在も営業する造り酒屋やしょうゆ店なども。また、卯之町の風景に溶け込む「開明学校」もぜひ訪れたいスポット。明治時代のレトロモダンな校舎は国の重要文化財ですが、魅力は建物だけではなくありません。明治・大正時代の教室が再現されており、実際に当時の授業体験ができるのです。はかま姿の先生が教壇に立ち、読み・書き・算術に唱歌……、タイムトリップ体験ができます。

車を海沿いへ走らせた「須崎海岸」では、約4億年前の地層が岸壁に縦縞^{たてじま}を描き、その迫力に圧倒されます。海岸沿いの遊歩道へ下りる道は、急な坂道なので、歩きやすい靴で行きましょう。



卯之町の町並み 「重要伝統的建造物群保存地区」の町並みは開明学校はじめ見どころ色々



西予市野村シルク博物館 シルクの製造を見学したり、シルクについて学べる。織機を使ってコースター作り体験もできる



須崎海岸 日本の奇岩百景にも登録された須崎海岸。地殻変動で垂直になった地層が岩肌をアートのように彩る



開明学校 木製の机や椅子が懐かしい校舎は明治15年に建てられた。「明治の授業体験」は4人からの予約制



DATA

- 西予市野村シルク博物館
TEL: 0894-72-3710
- 開明学校
TEL: 0894-62-4292
- 西予市観光協会[西予市観光についての問い合わせ]
TEL: 0894-62-6437 <http://www.seiyo1400.jp/>
- 西予市役所経済振興課[須崎海岸についての問い合わせ]
TEL: 0894-62-6408